

月光

…深く静かに透徹して

三浦礼未

月光...深く静かに透徹して

白く透明な波動が

夜の底に沈潜する

さえざえと

動きだす

意識

こきゅう

たいおん

わずかな

みうごき

何かが動きだす

鮮やかな

コトバ

そして

せかい

夜から朝の間に

風を突き抜ける

風を受ける

時が

はねるように

飛び去っていく

エンジンが

どろどろと

うなりながら

心は

それでも

深く

うつろな

夜の闇に

思いを

残して

い...

白く白く白く　そして　黒く

混乱した一日

熱に浮かされた世界を逃れ

沈潜する

闇

空に

しろくまるくかがやくひかり

心を覆う

くらいとうめいなやみ

残酷な海

よせてはかえす波のように

さざめくところ

波濤はとおく

あるいは

ちかく

砂は運び去られて行く

運び去られて行く

時の砂

おおきな

砂時計が

体の奥深くから

さらさらと

ささやいている

奔騰する静寂

争いの果て

それさえも

ほんの ただの ちょっとしたきっかけ

怒りのふり

冷酷なふり

わがままに

とりつくしまもなく

それさえも

ふり

人と人とがいる限り

どこかに譲れない一線はあって

それを越えた時

破綻は来る

仕方ないから

格好をつけた

ふりをしよう

またあるかもしれない

まつりのときをめざして

にぎやかに...孤独

コドク

こどく

孤独

一見そうは見えない

喧噪のなか

自分も一緒に流されている

かわされる

脈絡のない

コトバ

の

ツツリ

でも

もし

流れから

一秒

はずれたら

雑踏は孤独の檻になる

その覚悟は

君にあるか

トウメイナ焰

口から吐き出される
トウメイナ
焰

鉛筆の先にも
宿っている

今なら

キーボードの先にも

焰

意味を持つ
価値を持つ
心を持つ

その先にあるものは

ひと

意味を持つ
価値を持つ
心を持つ

だから

コワイ

相手が
カンジルことよりも

自分に起きる
ケッカよりも

そこにある
自分の

傲慢が

無責任が
甘えが

だから

白く
冷たい

月の光

その
清しさを
静寂を

透徹した光を

映しこめ

私の

焔に